

2020年12月2日

報道関係各位

日本の伝統漆芸『彩』とおくゆかしい美しさ『雅』を色漆で表現！

『**伝統漆芸 彩雅万年筆**』

2020年12月5日(土)より全国発売

セーラー万年筆（社長：比佐泰、本社：東京都墨田区）は、「伝統漆芸 彩雅万年筆」を2020年12月5日(土)よりセーラー万年筆製品取扱販売店にて全国発売いたします。

◆シリーズ名「彩雅（いろみやび）」について

伝統漆芸 彩雅は、日本の伝統的な『彩』と、おくゆかしい美しさ『雅』を色漆で表現した筆記具シリーズです。漆塗りの調度品（漆器）の価値は奈良・平安時代、貴族社会の富の象徴、神仏世界具現の麗美なものとして確立し、それにあわせて色漆も発展していったと言われています。

日本の伝統の美しさや奥深さ、人に潤いと感動を与える「漆（漆器）」ゆえに、ペン軸は色漆で仕上げ、桐箱に名高い真田紐と拘わり、伝統漆芸「彩雅」シリーズと名付けました。

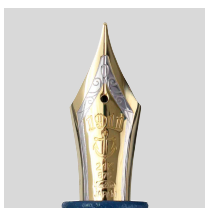
■『伝統漆芸 彩雅万年筆』

ボディにエポナイトを使用し、漆の表面が石の肌のように凸凹になる漆芸技法「石目塗」で色漆を何度も塗り磨き仕上げました。セーラー万年筆独自の21金超大型ペン先を搭載した重厚感のある1本です。



世界で評価された21金ペン先

セーラー万年筆独自の技術で成し得た21金ペン先。万年筆のペン先として多く使われている14金や18金に比べ弾力をもたせており、筆圧が強かかったときでもペン先の切れ込みが開くことなく、インク切れが起こりにくくなります。“しなる”ように紙面を滑り、常に安定したインク供給で快適な書き味が楽しめます。しなやかな書き心地を実現した、万年筆の頂点を感じられる逸品です。



●桐箱

桐箱は漆製品の保管に最も適した素材と言われております。結紐には千利休も茶道の道具箱に愛用したといわれる伸びにくく丈夫な真田紐を使用しております。



◆加賀塗について

山中漆器は、石川県加賀市の山中温泉地区で生まれた伝統工芸品です。

日本の伝統工芸品とも云える生活品の食器などは、古来から木地(椀等)が主流でした。そうした中で山中地区の木地工芸品は国内で類をみないほど名を成していました。江戸時代には山中地区で漆芸品が作られ、木地に漆塗りや蒔絵が施され山中塗が生まれました。現在、数ある国内の漆産地の中でも山中塗(近年、加賀塗とも表現される)は、漆器の特性である堅牢さや優美さを高めながら、他の漆産地でみることのできないほどの数多くの創造性豊かな漆器を造り出しています。漆工芸は、漆の性質上、手仕事作業による熟練した職人技術が必要で、作家活動をする漆芸家にも職人氣質が求められる為、創造性が高い漆工芸品も品質が優れたものとなっています。当製品に施されている加賀塗は、加賀市在住の30年近く漆芸に携わっている作家、小林已真氏の作品です。

◆漆芸技法「石目塗」について

石目塗は、漆の表面が石の肌のように凹凸になる漆塗りの技法です。

細かい石目になるものは、漆を塗った上に「炭の粉」や「乾漆粉」を蒔いたもので、その上に漆を塗って磨き出します。

また漆は空気中の水分を吸収することで固まる性質のため、乾燥には数日から数週間かかる故に漆芸品の完成までには数ヶ月を要します。

当製品は、万年筆本体のエポナイトに下処理を施す漆を塗り、その上に下塗りの漆を塗った後、色漆と同色に作成した乾漆粉を蒔き、抑えに仕上げ漆を塗ります。その後、仕上げの色漆を何度も塗り磨いた逸品です。



◆創作漆芸作家 小林已真 作 (こばやし いさな)

(小林 正俊)

石川県加賀市生。

石川県立輪島漆芸技術研修所卒業

伝統工芸士 角出俊平氏へ弟子入後、

蒔絵師 小林正男氏へ弟子入

2007年 小林漆芸工房 代表



カナダ、ケベック博覧会にて作品展示及び蒔絵実演

ニューヨークにて蒔絵装飾パネルを展示

2007年、外務省要請、ドミニカ共和国、フェルナンデス

大統領へ贈呈品の寄贈

日本工芸会 所属



【製品スペック】

品名：伝統漆芸 彩雅万年筆

希望小売価格：165,000円(税込)

ペン先：21金、超大型、バイカラー

字幅：中字、太字

蓋・胴・蓋栓・大先：エポナイト材、漆塗り

金属部品：金メッキ仕上げ

本体サイズ：φ20×153.5mm(クリップ部含む)、32.0g

付属品：桐箱、真田紐、万年筆用インク吸入器コンバーター(本体内蔵)、

クリーニングクロス、カートリッジインク(ブラック)2本、

万年筆品質保証書、取扱説明書、万年筆使用説明書

【商品の取り扱いに関する問合せ先】

ユーザーサービス：0120-191-167(フリーダイヤル)

以上

《当リリースに関する問合せ先》

商品開発部：03-3846-2919 木村(kimura-a@bungu.sailor.co.jp)

不在時：商品開発部 徳増(tokumasu-k@bungu.sailor.co.jp)

※画像のご依頼は、木村(kimura-a@bungu.sailor.co.jp)までお願いいたします。

※当資料は、東商記者クラブに投函しております。

会社概要：セーラー万年筆株式会社(代表取締役社長 比佐泰) 東証二部：証券コード 7992

〒130-0022 東京都墨田区江東橋 4-26-5 東京トラフィック錦糸町ビル 5F

Tel: 03-3846-2651 UR L: <https://www.sailor.co.jp>